

強誘電体の新展開 ～ κ - Al_2O_3 型構造が導く新しい強誘電性起源～

講 師 安井 伸太郎 氏

(東京工業大学 ゼロカーボンエネルギー研究所 テニユアトラック助教)

日 時 2022 年 1 月 19 日(水) 16:20～

場 所 理学部 A 棟 A017

強誘電体材料が発見され約 100 年が経過したが、実用化されている材料のほとんどがペロブスカイト型材料である。魅力的な強誘電性を示す材料は変位型強誘電体であり、構造科学からの視点から考えた際に決して選択肢が多くななく、また“外場により分極反転可能”という条件が加わることで、さらに材料選択が狭まる。この背景より、構造自由度の高いペロブスカイト型材料からの脱却が如何に困難か容易に想像できる。本講演では、 κ - Al_2O_3 型構造について結晶内のカチオンが織り成す配位状態と強誘電性起源について言及し、新しい物性の起源について提案したい。

共同セミナー「理工学融合共同演習」認定科目です。

担当：中島 伸夫（内線 7361）

Zoom ミーティングも立ち上げます。

<https://us06web.zoom.us/j/87995522547?pwd=ZFpGeitoUGFKdUozalBGcnAwZ09Hdz09>

ミーティング ID : 879 9552 2547

パスコード : 7WSdKn



共同セミナーとして受講する学生は、件名を「共同セミナー1/19 受講」とした電子メールに、学生番号と氏名を記載して、中島(nobuo@hiroshima-u.ac.jp)宛に送付し、セミナー終了後 1 週間以内に中島（理学部 C 棟 105 号室）までサインをもらいに行ってください。

